

令和5年度第1回教育課程編成委員会 会議議事録

■ 日時 2023年7月14日(金) 13:30 - 15:00

■ 場所 日産教育センター 第2研修館 301教室

■ 参加者

<外部委員>

団体代表 森下 義幸様 (一社) 神奈川自動車整備振興会 専務理事
団体代表 柏木 勝巳様 (一社) 神奈川自動車整備振興会 教育課 課長
企業代表 金子 裕次様 日産自動車販売株式会社 サービス部 部長
企業代表 宮本 正人様 日産プリンス神奈川販売株式会社 サービス部 次長
日産学園代表 玉生 久典様 学校法人日産学園 教育企画部 部長代理

<内部委員>

日産自動車(株) 大羽 拓 日本アフターセールス本部アフターセールスリテンション部主担
学 校 長 市橋 天
教 頭 古畑 雅人 (教育部長兼務)
学務部長 橋本 恭子
学務部課長 武田 猛
教育部課長 岩田 利興
教育部課長 山澤 真二郎

<オブザーバー> 本廣 好枝様 (学校法人日産学園 学長)

<概要>

下記議題についての説明・展開をした後、質疑を実施しました。
議題・展開事項及び主な質疑は以下の通りです。

<議題・展開事項>

1. 前回会議でのご意見に対する取り組み状況について
 - ・販売会社と同じシステムの学校内での教育の進捗・準備状況の説明
 - ・1・2年生実習カリキュラムの実践力向上に向けた改善報告と日産校ならではの教育についての意見交換
2. 本日の議題
 - ・販社アンケート結果から見る卒業生の現在値について

1. 【前回会議でのご意見に対する取り組み状況について】

◆ 販売会社と同じシステムの学校内での教育の進捗・準備状況の説明

- 部品検索システム（EPC）について。
 - ◆ 2022年後期から利用を開始し現在の利用可能なパソコンは44台、各実習で11台利用を基本として各学年で利用しています。
 - ◆ 部品検索システムの端末で、電子技術マニュアルの閲覧も可能とする事で効率化を図りました。
- 顧客管理システムについて
 - ◆ 顧客管理システムについては2023年後期から学習が可能となる予定です。
 - ◆ 顧客管理システムの端末でも部品検索システムを利用可能ですが、二つのシステムの連携が出来ず対策を検討中です。（検索部品を見積書に反映できない）
 - ◆ 現在は設定等を確認しながら、カリキュラム内容について検討中です。

◆ 1・2年生の実習カリキュラムの実践力向上に向けた改善報告と日産校ならではの教育についての意見交換

- 今後のカリキュラム改善のご意見・要望など

【意見交換】

今後の取り組みにおいて日産だから横浜校だから学べる教育内容について以下の3点についてご意見を伺いたい。

1. 一般他校で変わった授業や教育内容
2. 学生に興味を持たれている教材や、整備（授業）内容
3. 高校や企業と連携している授業や、研修

《意見内容》

【学外委員】一般他校でARを活用して実物分解をしなくても、画像で中の構造を出来るという授業を見たことがあります。エンジンやシャシ等の分野別に作成されており、テストも組み込まれていて自己学習出来るものになっていました。これらは学校だけで作成しているのではなく、様々な企業等が協力しているようです。

【学外委員】我々のところでは動画を一方的に見せるより、昔ながらのアニメカをOHPで投影して見せています。その方が教科書の内容については説明し易く理解し易いと感じています。動画だと見せてお終いという懸念があるためです。

【学外委員】卒業制作で車両を作成したり卒業研究で様々な事を研究したりと、学校で学んだ事の集大成を内定先企業の方々に前に発表していたが、そのように自分達で考察しながら実施すること、内定先企業の前で発表することが良い勉強になるのではないかと思います。

【学外委員】学生たちに自分達で整備や調整をした車両で確認走行を実施させる事で、楽しく体感的に学習する事が出来るのではないのでしょうか？体感する事でここまでやっても大丈夫、ここまでやるとダメ等、試行錯誤の中で学ぶ事は多いと思います。失敗しても学ぶ事は多いと思います。

（学内委員）モータースポーツ科では自分で整備・調整した車両の走行確認をするが、他の学年では難しい。4年生がインターン終了後に自分で車検整備した車両を検査ラインを通すレベルまでが実態です。

2. 【本日の議題】

- 1) 販社アンケート結果から見る一級自動車工学科と自動車整備科の受け止めから、整備技術力において、卒業時点での12ヵ月定期点検作業の期待値及び故障診断について一般校との差や、求められるレベルについてご意見を伺いたい。

●一級自動車工学科

《意見内容》

- 【学外委員】点検作業への期待度としては大きく変わっていないと思っています。ただ近年は自動車が大きく変わり、電気自動車やハイブリッド等に対応していかなければならない。それも含めての判断になっているとしたら、以前よりは出来ていないという回答になっているのかもしれませんが。
- 【学外委員】故障診断については、新入社員に高度故障診断が出来る事を期待しているのではなく、簡単な故障でも理論立てて考察して故障までたどり着く、という事の方が現場では重要視されていると思います。
- 【学外委員】この学校の卒業生は入社後3~4年が経つと、故障診断への考え方がともしっかりとしてきているのを感じます。それは学校在学中に学習した故障診断の基礎が身に付いているからだと思います。
- 【学外委員】専業者者に就職した人の方が慣れが早いを感じることはあります。新入社員でも一人でやらせるしかない環境があるのかもしれませんが。
- 【学外委員】ここまでは理屈、ここから先は経験で分かっていく境界線みたいなものがあります。今日産校で教えている基本レベルを修得してくれば十分だと思います。

●自動車整備科

《意見内容》

- (学内委員) 授業の質や内容は以前と変わってはいません。現在はガソリン車を使用して12ヵ月定期点検の実習を実施しているが、整備現場の実態を参考にタイミングがきたらハイブリッド車等の電動車に変更する事になると考えています。
- (学内委員) 今後3年後に12ヵ月定期点検を練習させるとして、どのような実習車両を使用したらよいですか？
- 【学外委員】ハイブリッド車でも点検作業は大きく変わらないと思います。しかし整備記録簿の項目の中で、“この車に付いている物・付いていない物”が多くあるので、項目ごとに判断しながら記入出来る事は大切だと思います。
- 【学外委員】実習車がハイブリッドや電動車ばかりになると、内燃機関の知識が疎かになる事で資格取得に影響してしまう事が心配されます。
- 【学外委員】新入社員に貸与している工具の種類が少ないために工具選択が出来ず、結果的にベルト交換が出来ないと判断されている事が予想されます。

- 2) 対応力や普段の生活において、2022年入社の当校卒業生の特徴的なところ、一般校との差、求められる新人像等についてご意見を伺いたい。

●一級自動車工学科

《意見内容》

- 【学外委員】コミュニケーション能力についての評価は店舗に配属された時の評価とアンケート回答時(数ヵ月後)の評価の2段階にすると、違うものが見えてくると思います。社会人マナーなどは入社後にも教えていかねばならないことだと思います。
- 【学外委員】報告・連絡・相談については、出来て欲しいという期待があり、しかし期待ほどは出来ていないという事実があるのだと思います。他校卒業生に比較すると全体的によく出来ているとは感じています。
- 【学外委員】日産校の一級課程の卒業生は新入社員でも学校でプラス2年間学んでいるので、社会人としての行動が他と比べてとても良く出来ているという印象があります。
- 【学外委員】他校の一級課程の学生でも日産校卒業生と遜色無く即戦力として活躍している新入社員もいます。

●自動車整備科

《意見内容》

- 【学外委員】“チームワークとコミュニケーション”については新入社員が意識しなければならない

というよりも、周りが新入社員のその意識を引き出す事の方が重要だと考えていて、一方的に出来ないという印象はないと思います。昨年度の新入社員のコミュニケーションも特に悪いとは感じていません。

- 【学外委員】日産校卒業の新入社員は、日産特有の用語を知っていますし日産車の整備にも慣れているので、よく吸収して成長するのがとても早いです。
- 【学外委員】近年の高専卒の新入社員は手が早く、作業だけなら日産校卒業生よりも出来ると感じる新入社員もいます。
- 【学外委員】他校の卒業生は日産校より特徴のある育成をしているのかもしれない、と感じる事があります。良い着眼点の質問をしてくる新入社員も多いです。

3) 外国籍の卒業生の良いところ、足りない部分、受け入れた企業の反響などについてご意見を伺いたい。

《意見内容》

- 【学外委員】外国籍の新入社員はとても気が利くという印象があります。皆で共用している物を前もって準備する等、これはやっておいた方が良いだろうな、という事には予め気を回してくれます。日本人の新入社員には無い事だと感じています。
- 【学外委員】人を思いやる気持ちが強くて気持ちが優しいです。工具の使い方も自国で工具に触る機会が多いのか、外国籍の新入社員の方が使い方も上手いです。
- 【学外委員】一般の整備工場でも外国籍の整備士は働いていて、非常に真面目に働いていると評判が良く、勉強でも成績が良いのは外国籍の方だということも多いです。
- 【学外委員】外国籍の社員は身体能力も学力も高く、出来ないのは漢字くらいです。日本で働いている事への特別感を持っていて、真面目に一生懸命に日本で働いてくれています。
- 【学外委員】専業者には日本人の若者は中々来てくれないので、外国人整備士にはとても助かっているという反響もあります。
- 【学外委員】販売会社で働いてもらう時に課題になるのはやはり日本語なのですが、今後は周りが根気よく教えてあげる事が重要になっていくと感じています。お客様対応に関しては実際のお客さまを相手にOJTで練習させる事で確実に上達していきます。
- 【学外委員】外国籍の新入社員を受け入れる店舗では最初は戸惑いがあったとは聞いています。しかし近年では会社全体として受け入れに慣れてきていて、スムーズに受け入れる事が出来ています。

以上